



港南小学校だより

2月号

二十四節季・七十二候

< 2月の二十四節季 >

- ・ 2月4日 立春
春の気始めて立つ
- ・ 2月19日 雨水
氷雪解け雨水温む

< 2月の七十二候 >

- ・ 東風解凍
はるかぜおこりをとく
→東風が厚い氷を解かし始める
- ・ 鶯鶯睨睨
うぐいすなく
→鶯が山里で鳴き始める
- ・ 魚上氷
うおこりをのぼる
→割れた氷の間から魚が飛び出る
- ・ 土脉潤起
つちのしょううるおいおこる
→雨が降って土が湿り気を含む
- ・ 霰始霰
かすみはじめてたなびく
→霰がたなびき始める
- ・ 草木萌動
そうもくめばえいずる
→草木が芽吹き始める

当たり前のことを当たり前

校長 船木 亮作

つい先日三学期が始まったと思っていたら、今年度も残り二か月となりました。一(い)月は行(い)く月、二(に)月は逃(に)げる月、三(さ)月は去(さ)る月とも言われています。この短い三学期は、学校にとって一年間のまとめをするとともに、次年度の計画を立てる大切な学期です。先日、皆様からいただいた学校評価の結果を基に、教育活動の改善や指導の充実に向け、現在検討を進めています。

さて、始業式に次のことを子供たちに話しました。冬季休業中の書写展の際、バルセロナオリンピック金メダリストの柔道家古賀稔彦さんの講演でお聞きした内容です。それは、「努力」には二通りの「努力」があるということです。一つは、誰かに言われた事に対して努力すること、もう一つは自分から目標を立てて努力することです。皆さんはどちらの努力をするでしょうか。是非、三学期のめあてを立てる際、自分で目標を立てるべく向かって努力してほしいと話しました。また、その講演の中で古賀氏は自分が運営する柔道塾の「五訓」についてもお話をされました。それは、

- 一、「はい」という素直な心
- 一、「ありがとう」「ございます」という感謝の心
- 一、「私がいります」という奉仕の心
- 一、「すみません」という反省の心
- 一、「おかげさまで」という謙虚な心

この言葉を稽古を始める前に声に出して言うそうです。声に出すことによってその言葉は自分の身体の一部となり、いつしかその

言葉が自然と発せられるようになるそうです。頭で分かっているでもなかなか行動に移せない世の中だからこそ必要だと話されました。この言葉は、私たちの生活の中では当たり前前に必要な言葉でありながら、実際はなかなか出来ていない現状があります。

この話を聞いたあと、以前「福井県の学力・体力がトップクラスの秘密」という記事を読んだことを思い出しました。それは、福井県の結果が、学習面でも体力面でも好成績を取めたということと、その背景には、「当たり前前のことを当たり前前にやる力」が身に付いていることが大きな要因だそうです。具体的には、「先生の話をしっかりと聞く」「宿題をきちんとやってくる」「友達と仲よくする」などが挙げられていました。さらにその背景には「家庭の安定」「地域の絆の強さ」など非行を防ぐ教育環境が醸成されていることも挙げられていました。

本校の学校生活の中にも当たり前前のことを当たり前前にやるのが数多くあります。例えば

- 相手の目を見てあいさつをすること
- 決められた時刻に登校すること
- 鉛筆を削ってこること
- 校帽をかぶってこること

どれも当たり前前のことで、今も昔も変わらない生活の基本です。しかし、この基本が定着していないのが現状です。

もう一度基本に戻り、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの健全育成に向けて取り組んでいく必要があるのではないかと考えます。

今月の生活目標

「安全に気を付けて生活しましょう」

一月から、予告なしの避難訓練を実施しています。職員にも、いつ避難訓練があるかを知らせず、突然「訓練、訓練」と放送が入ります。一月は授業中の地震でした。まずは黙って放送を聞くことから観ていきました。

自然災害は、いつ起こるか分かりませんが、それを防ぐことはできません。大切なのは、災害時にできるだけ被害を少なくすることです。自分の命も、周りの人の命も守るために、まずできることは正確な情報を得ることです。そのために黙って放送を聞くことが大切になります。

二月も予告なしの避難訓練です。一月の学習を生かし、正しい判断ができるようになりましょう。

数年ぶりの積雪があった一月。外で元気がよく遊びたいけれど、なかなか外に出られないことが続きました。休み時間、室内にいたり、増えているのが廊下や階段でのおにごっこです。体を思いっきり動かしたくなるのも分かりますが、一人で生活しているのではなく、千二百人が一緒に生活しているのだということを改めて理解させ、室内での過ごし方について、子供たちに考えさせていきます。

また、登下校時の道の歩き方についても課題があります。他の歩行者や自転車の通行車が見えておらず、接触することが起きています。相手にけがを負わせてしまう前に、今一度登下校時の歩き方について指導してまいります。ご家庭でも併せてお話し頂きますようお願いいたします。

(生活指導主幹 小林 幸子)



東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

3月の主な行事予定

- 1日(木) 感謝の会(6年) 14:00
【6年以外は13:15下校】
- 2日(金) 保護者会(1・2年)
- 3日(土) 土曜授業日
- 5日(月) セーフティタイム、委員会活動
- 6日(火) 保護者会(3・4・5年)
- 12日(月) クラブ活動
- 17日(土) 土曜授業日
- 19日(月) 卒業式予行(5・6年)
【1～4年は13:25下校】
- 20日(火) 給食終
- 21日(水) 春分の日
- 22日(木) 卒業式
- 23日(金) 修了式、土曜時程、大掃除2校時
- 26日(月) 春季休業日始

2月の行事予定

1日	木	体育朝会・集会、ふれあい月間始、ユニセフ週間終 お茶会(わかば)、保護者会(わかば) 15:45
2日	金	
3日	土	
4日	日	
5日	月	全校朝会、セーフティタイム、あいさつ週間始 委員会活動
6日	火	げんきアップタイム 校外学習(わかば5・6年生)
7日	水	基礎の時間なし【13:10下校】
8日	木	体育朝会・集会、キッズスポーツアカデミー 15:45
9日	金	漢字検定のため掃除なし 【受験しない児童 14:20下校】 【10級～8級 15:30下校】 【7級～2級 15:50下校】
10日	土	
11日	日	建国記念の日
12日	月	振替休日
13日	火	全校朝会、主権者教育(6年)
14日	水	学校保健委員会(6年)【6年14:40下校】
15日	木	音楽朝会
16日	金	あいさつ週間終
17日	土	ふれあいクリーン作戦 おしるこ会
18日	日	
19日	月	全校朝会
20日	火	新一年生保護者会【1年12:50下校】 キッズスポーツアカデミー 15:45
21日	水	校内研究授業4年1組【4年1組14:40下校】
22日	木	
23日	金	保護者会(6年) 15:00
24日	土	土曜授業日 卒業・進級を祝う会(わかば) 10:15
25日	日	
26日	月	全校朝会、クラブ活動
27日	火	6年生を送る会3校時、兄弟班お別れ給食
28日	水	基礎の時間なし【13:10下校】

この他に、避難訓練(予告なし)があります。

副校長より

平成二十九年度も残すところあと二ヶ月となりました。時間が経つのがとても早く感じています。寒さが一層厳しくなり、布団から出るのもおっくうになります。「あともう少し」という誘惑に負けないようにするのは大変です。しかし、生活リズムの大切さを改めて感じます。新年度を迎えるために、本年度の準備はすでに始まっています。特に、基本的な生活習慣についてもしっかり確認いただければと思います。学校でも、本年度の活動を振り返りつつ、改善

や見直しを図ることを通して新たな計画の立案をしています。また、皆様からいただいた学校評価アンケートも貴重なご意見として受け止め、更なる改善を図っていききたいと考えております。新たな取組を立案していく中で、船木校長が掲げる「すべては、港南の子供たちのために」を念頭に置き、四月からの生活をより一層充実したものになるように計画していききたいと考えています。

(副校長 原島 謙一)

近藤 夏彦

今月のあいさつ当番

1年, 5年

今月の生活目標

安全に気を付けて生活しましょう

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	30	235	208	195	192	188	156	1204

表彰

全国小・中学校リズムダンス
ふれあいコンクール
～小学生部門～
出場
港南小学校 5年5組

港南防災ネットワーク設立 20周年
記念事業シンボルマーク募集
～小学生の部～

優秀賞

6年 宮澤 梨奈

2018 カワイ絵本フェスティバル
佳作

1年 山口 素笑

読書感想文 学年代表

6年 高澤 紗良
5年 篠原 七華
4年 矢部 陽奈
3年 丹羽 智紀
2年 坂本 彬人
1年 窪山 和夏

わかば学級より

今年度、わかば学級は開級十周年を迎えました。四月に五年の一年生が入学し、一名の転入生が仲間入りして過去最大の三十名となりました。

集団の規模は大きくなりましたが、学年や発達段階、子供たち一人一人の目標に応じて、様々な学習活動を行っています。いくつか具体的に紹介いたします。

○「国語」「算数」：個人の目標に合わせて、確かな学力を身に付けられるよう個別や小グループで行います。

○「音楽」「図工」「体育」：合唱や鑑賞などは集団で、器楽の練習は個別に学習することで、豊かな心、健康的な身体を育むとともに、技能面の向上、表現する楽しさや喜びを味わえるように設定、展開しています。

○「生活単元学習」：集団やグループなどで栽培や調理、理科や社会にかかわるもの、校外学習やお楽しみ会の計画や実施など、体験的な活動を通して、知識や理解を深めるとともに、目的に向かって努力したり協力したりする経験を通じて、自主性や社会性を育てています。

他にも言語能力やコミュニケーション能力の向上を目的として、専門の指導員が言語指導を行うなど、特色のある学習活動を行っています。

一年生から六年生までの子供たちが学校生活、学習活動においてかわり合うなかで、相手のよさを

や成長を認めたり、協力したり競い合ったり、時に衝突し、話し合っ解決したりすることも大きな学びの一つです。

生活や学習の場は、学級だけではなくありません。子供たちは一人一人、交流学級に所属しています。朝会や集会などの場面や教科学習、交通安全教室や豆腐作り、社会科見学などの体験的な学習活動に参加して共に学んでいます。また、高学年になると、委員会活動では異学年の友達と協力して、校内の仕事に取り組んだり、共通の趣味をもつ友達とクラブ活動にいそしんだりしています。

これから先も、子供たちがもっている力をより多くの場でよりよい形で発揮し、活躍することができるよう、指導・支援をしてまいります。

(わかば学級担任 岡名 沙輝)



ボランティア委員会

今年度新設されたボランティア委員会、港南小学校のために役立つことを考え、活動しています。

今は、ユニセフの募金活動を行っています。二期の発展途上国の子供たちの現状について、調べ学習を行いました。世界には、過酷な状況の中で懸命に生きていく子供たちがいることを知り、募金活動を行うことにしました。集金を開くにあたって、グループの友達と役割を分担し、伝えた

あいさつ委員会

内容を決めました。ユニセフのあゆみ、水と衛生そして、子供の労働についてを調べました。その現状を受けて今、私たちにできることは何かを調べて全校児童に呼び掛けました。

ユニセフの他にも、クリン作戦の参加率を挙げたいと取り組んだり、校内の清掃活動を金曜に行ったり、意欲的に活動をしています。

(ボランティア委員担当 土屋 香澄)

あいさつ委員会

あいさつ委員会は、今年度から新設された委員会です。あいさつ委員がどのような活動をしているかをご紹介します。



まず、毎日の活動として朝のあいさつを大階段で行っています。また、どのようないいさつをしたら、全校児童があいさつを返してくれるか意見を出し合ったり、あいさつ委員会を呼び掛けたり、

朝会と呼び掛けたり、

と、全校児童のあいさつがよりよくなる方法をみんなで考えています。

さらに二月のふれあい月間のテーマがよいあいさつをしようというテーマになり、あいさつ委員会を中心になって活動を行うことになりました。

各学級のあいさつリーダーと一緒に全校であいさつを盛り上げていきます。

港南小学校が明るくあいさつでいっぱいになるように今後も元気に活動していきます。

(あいさつ委員会担当 鈴木 裕貴子)

書道クラブでは、毎回共通のテーマを自分たちで決め、好きな言葉を書いてきました。例えば、「運動会」というテーマでは、「全力」や「協力」などの言葉を書き、掲示しました。

書道クラブのよさは、心を落ち着けてゆつくりと自分を見つめながら字を書くことができることです。部員は一言も話すことなく集中して取り組んでいます。六年生に話を聞くと、よい字を書くために集中して取り組むことを心掛けていると言っていました。

書き初め会に向けて練習することもできません。書き初めの紙に書く機会はあまり多くないと思うので、貴重な活動です。今後も三階の廊下に作品を掲示し、書道クラブの活動を紹介していきたいと考えています。

(書道クラブ担当 照沼純)



ボードゲームクラブでは、将棋や囲碁等に取り組みます。今年度は、四年生七人、五年生三人、六年生四人で活動しています。学年を超えた関わりが増えるように、毎回ペアを変えたりトーナメント形式にしたりと活動内容を工夫しています。また、ダイヤモンドゲームやチェス、オセロなど様々なボードゲームに触れ合うことができるようにしています。

一学期に初めて誰もが楽しめるようにとルールが簡単な「動物将棋」を子供たちが作りました。今後は「動物将棋」のトーナメント戦を行う予定です。子供たちの前向きな気持ちを大切にしながら、幅広く楽しく活動できるようにしていきたいです。

(ボードゲームクラブ担当 栗田純)



サッカークラブでは、サッカー好きの児童二十三名が元気に運動に親しんでいます。六年生を中心として主体的にクラブ活動を運営しており、自分たちでサッカーを楽しもうとする態度が育っています。

サッカークラブのよいところは、サッカー経験の有無にかかわらず、ゲームを中心に楽しめることです。クラブ活動の時間の四分の三はゲームに充てており、全チームとたつぷりゲームを楽しめます。異学年でチームを編成するので、様々な学年の友達ができます。また、上級生と下級生の仲がよいところも魅力の一つです。今後とも和気あいあいとした雰囲気の中で運動の楽しさをより一層味わえるよう活動していきたいと思っています。

サッカークラブ

(サッカークラブ担当 小清水孝)



今年度は、計十五名の児童で活動しています。一輪車が得意な子だけでなく、初めて一輪車に乗る子も楽しく活動できるように内容を工夫しています。鉄棒前で、アイドリングやメリーゴーランドなどの様々な技に積極的に挑戦しています。一輪車が苦手だった子も、友達に教えてもらおうことで、一輪車に乗れるようになってきました。手をつないで一輪車を漕いだり、タイヤに足を置いて片足で漕いだりと自分たちで考えた技を練習しています。

三学期のクラブ発表会で様々な技が披露できるように、空中乗りを練習したり知っている技を教え合ったりして、みんなで協力して楽しく活動していきます。

一輪車クラブ



(一輪車クラブ担当 金子瑠美)

家庭科専科より

家庭科の目標の一つに、『自分が家族の一員としてできることを増やす』があります。家庭科で学習した後、「家で料理をしてみたよ」「自分でポタンを付けたよ」など、できるようになったことを報告してくれる児童がたくさんいます。これまでの学習で、ゆでる・炒める調理をしたり、手縫いやミシン縫いを活用して、生活の中で使える布作品を作ったりしました。五年生の中には、初めて包丁やミシン

を使う児童も多く、興味津々に学習に取り組んでいます。六年生は、自分の生活に合ったものを選んで学習を進めることもあります。家庭科は自分の家庭生活に直接つながる学習です。できるようにしたいと、生活を生かしていかしたいと思っています。

(家庭科担当 木元千春)



読書の好きな四年生から六年生までの児童十三人が集まって活動しています。四月に部長を中心に活動内容を話し合っていて決まりました。主にクラブの時間の前半は、好きな本に集中してじっくり読み、最後に自分の読んだ本のおもしろかったところを紹介し合っています。物語や伝記、社会や理科の読み物などが人気です。今は、おすすめの本をカードに書いて全校の皆さんにお知らせする準備をしています。

読書クラブ

(読書クラブ担当 矢澤恵美)

読書の楽しさを広めることで、港南小の子供たちも読書に興味をもってくれようと思います。

